

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号)	令和3年度第1回すみだ食育推進会議		
開催日時	令和3年6月2日(水) 午後1時30分から午後3時まで			
開催場所	墨田区役所 12階 121会議室			
出席者 (敬称略)	【委員】佐伯信郎、友成真一、内野美恵、羽原 隆、大久保勝久、 原 和彦、河西紀道、田口武司、平田慎吾(欠席)、 高山はるか、中村雄介、河上俊郎、栗田陽、 岩瀬 均(保健衛生担当次長) 【事務局】保健計画課長			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	傍聴者数	4人	
議題	1 報告 (1) 令和2年度食育の推進状況について (2) 令和2年度災害時食支援ネットワーク検討会報告 2 議事 (1) 令和3年度食育の推進事業予定について (2) 令和3年度災害時食支援ネットワーク検討会について (3) 墨田区食育推進計画の改定について 3 その他 4 今後の予定			
配付資料	<配布資料> すみだ食育推進会議に関する要綱 資料1 令和3年度 すみだ食育推進会議委員名簿 資料2 平成2年度 区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業実績 資料3 令和3年度 食育推進事業(予定) 資料4 災害時食支援(案)について 資料5 墨田区食育推進計画改定について 資料6 第4次食育推進基本計画(国) 参考1 食育ピクトグラム 参考2 第21回文花中地域ふれあい祭り「夢の投稿」			

1 開会

事務局

令和3年度第1回のすみだ食育推進会議を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、また緊急事態宣言が延長された中お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。まず本日の委員の方々のご出席の状況でございます。有限会社三善豆腐工房の平田様が本日ご欠席と伺っております。また墨田区耐震化推進協議会の河上さまが途中からのご参加。墨田区医師会の羽原様につきましては診療のご都合によりまして、途中でのご退席予定でございます。

なお申し遅れましたけれども私4月に保健計画課長になりました杉崎でございます。不慣れではございますがどうぞよろしくお願いいたします。さて、このすみだ食育推進会議につきましてはすみだ食育推進計画の理念を踏まえまして、墨田区の食育を総合的に推進するために区長の付属機関として条例により設置をしております。本日の会議は、区の公開に関する基準に基づきまして会議の公開並びに会議録の公表を行うことになっておりまして、事前に傍聴者を募りましたところ4名の方々が本日傍聴されることになっておりますのでご報告申し上げます。また計画改定の支援委託事業者が事務局として同席をいたしております。それではまず初めに山本区長から皆様へご挨拶申し上げます。

区長

区長の山本でございます。改めまして皆様こんにちは。皆様にはお忙しい中第1回すみだ食育推進会議にお集まりをいただきました。まずは感謝を申し上げます。そして日頃から墨田の食育につきましても、また今日は傍聴の方々もいらっしゃいますけれども本当にいろいろとご理解とご協力を承っております。そのことにもまず御礼を申し上げたいと思っております。

今コロナの状況の中で感染防止対策このワクチン接種というところで、実は岩瀬次長がワクチン担当の部長も兼務しておりまして、いま必死に対応、そして希望する方に早く打っていただけるようにと取り組んでおります。医師会の先生方にも大変なご協力をいただいているという状況でございます。1回目の高齢者の接種については、だいたい今43%終わったと。そして一昨日からは2回目の接種に移っているというような状況でございます。そして昨日64歳以下の方にも接種券の配送をさせていただいたという状況でもあります。これはこのコロナ対策を進めていくにあたって墨田の地域力、そしてみなさんで協力をしながら区民の安心、そしてコロナに対応していこうとこういう心の現れがこの間1年以上あったからだと感じておりまして、区民全体として協力いただいている方全てに感謝というものを持ちながらこれから私達はしっかり取り組んでいかなければいけないと思っております。

もともとこの平成27年に食育の全国大会というのをここにいらっしゃる皆さんと一緒に墨田区が当番としてやらせていただいた時の、この私も我々もってこういう気持ちがかつて全国大会で見事にあらわされて、大役を務めさせていただいたわけなのですが、まさにこのコロナ対策に対してもそういう気持ちが関連しているのではないかと思います。その根拠が、根源となるものが食育の全国大会だったのではないかなと感じているところでございます。

そういう意味で、そのあと平成 29 年に策定をしたこの現行の推進計画、早いものでこれが今年度をもって5ヶ年の計画満了ということになっているわけでございまして、次の段階に進むにあたって今回も今日がスタートということで、また皆様方にご協力をお願い申し上げます。そして大事なところがですね、いろんな私報告を受けているのですが、そういう墨田の全国に誇るべき食育の取組が、この今回の5年間のなかでどのくらい皆様にご参画が頂けて、そしてそれがその状況としてしっかりうまくいったかなというところを改めて私も振り返りますとやはりあの私どもの至らぬ点も正直感じながら、そしてこのあたりのうまくいったかどうかをしっかりと検証しながら次に行かなければならないと思っております。

そして今日は改めて、みなさまスタートラインというところの中で、次期計画作り、これを進めていきながらこの次の計画に沿った形でどんなことが次なる食育としてやっていくのかと。そして具体的にどんな取り組みをして区民全体でこの食育を盛り上げていくのかと。ぜひ私達は考えていかなくはないと思っております。ぜひ皆様方にはこの第1回の食育推進会議から改めていろんな忌憚のないご意見を頂戴し、そして私反省点も多いと申し上げましたのでそういうところを次の課題につなげていただきながら、力添えをいただければと思っております。

冒頭ちょっと長くなりましたけれども、皆様方のご協力を心からお願い申し上げて、冒頭のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

事務局

区長はこの後公務が重なっておりますので、ここで退席をさせていただきます。続きまして岩瀬保健衛生担当次長からご挨拶申し上げます。

■ 岩瀬委員

ただいまご紹介にあずかりました岩瀬でございます。今回食育推進委員として名を連ねさせていただきました。2年位前まではこちらの事務局の立場でいたわけでありまして。ただ今区長のほうから話がありましたけれども、若干こちらのほうでの至らない部分がありまして、委員のみなさまにご心配をおかけした部分もあったかと思えます。そして杉崎課長が着任しまして、ぜひ我々のほうも襟を正させていただいて、ぜひ素晴らしい墨田区の食育を推進していきたいと考えているところでございます。

私、現在保健衛生担当の次長なのですが、ワクチンにちょっとかかりつけでございまして、徐々に体制も整ってまいりまして、少しずつ、本来の次長の姿に戻っていきなと思っております。その中でやはり、私も5年前に計画改定の参画をさせていただきました。

また、この計画の改定時期に戻ってまいりましたので、この5年先を見据えて、いい計画作りをするのが大事なのではないのかなと思っております。やはりこのコロナ禍の中で先を見据えてですね、しっかりと計画づくり、私も委員としてですね、参画させていただきたいと思っております。今後ともですね、ぜひ先生方をはじめとしたアドバイスいただきまして、すみだの食育を進められたらと思っておりますので、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局

それではここから議事の進行につきましては佐伯委員長をお願いいたします。

□委員長

はい、皆さんこんにちは。この委員会の委員長を務めさせていただきます、佐伯でございます。今日は事務局の杉崎課長さんが4月に異動されてこられたということで委員の皆様にご紹介をしたいと思います。自己紹介は名簿順にお願いしたいと思います

- 各自自己紹介 -

2 報告

事務局より資料2に基づき説明

- (1) 令和2年度食育の推進状況について
- (2) 令和2年度災害時食支援ネットワーク検討会報告

3 議事

事務局より資料3に基づき説明

- (1) 令和3年度食育の推進事業予定について

ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

事務局より資料4に基づき説明

- (2) 令和3年度災害時食支援ネットワーク検討会について

ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

事務局より資料5に基づき説明

- (3) 墨田区食育推進計画改定(令和4年6月)について

ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

-----以下、意見交換の概要-----

□委員長

それでは進行していきたいと思います。では次第に沿いまして報告のほうをしていきたいと思います。まず1. 令和2年度食育推進状況について。そして2. 令和2年度災害時食支援ネットワーク検討会報告をまとめて報告していただき、委員の皆様の質疑ご意見をお伺いしたいと思います。それでは事務局から報告をお願いいたします。

事務局

それでは資料2をご覧ください。令和2年度第2回の書面開催の際に12月までの食育推進の実績について御報告させていただきましたが、そこにさらに年度末までのものを追加した資料となっております。今回の資料では、すみだ食育 good ネットの独自事業についても記載させていただいております。さらに事業につきまして、前回資料では分かりにくいところがありました。区主催であるのかあるいはほかの団体が主催であるのか、また主催なのか参加なのかというところがわかりやすいように○とという形で表記してあります。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により例年の6月の食育月間においてすみだ食育フェスは開催できませんでした。そのかわり、11月に内容を展示のみに変更して開催しました。後ほどまた食育フェスの話の中でその実績についての話も触れさせていただきます。

また、すみだ食育 good ネットと区がすみだの食育を紹介するために展示で参加予定をしておりました第15回の食育推進全国大会は愛知で開催を予定していましたが、コロナの影響によって開催は中止されております。そのようにこちらのとおり、区主催のイベントや地域イベントはほとんど中止になってしまった令和2年度となっております。そのため、会議などの開催記載が多くなっております。なお、すみだ食育 good ネットにおいては特別区全国連携プロジェクトについての会議、またはイベントの開催が書かれておりますのでご覧いただければと思います。以上になります。

□委員長

ありがとうございます。続けて、令和2年度災害時食支援ネットワーク検討会の報告をよろしくお願いします。

事務局

こちらは口頭での説明となり、資料はございません。令和2年度については、私が医師会・歯科医師会はじめ、各団体の委員推薦を失念するなどいたしまして、2月に推薦依頼をさせていただいたという状況がございました。そのため、本来ですと1年任期での委員推薦を依頼すべきところ、令和2年度、3年度の2年にわたって推薦をいただいたという形となっております。第1回の検討会は3月に開催させていただきました。座長は河上委員になっていただいております。

令和2年度につきまして、1回のみで開催になってしまいましたので、当初の予定では2年度中に避難所模擬訓練やマニュアルの素案の検討を課題としておりましたが、こちらは令和3年度以降に持ち越しとなっております。このような状況に対し、当日の検討会の中では委員のみなさまから現状の事務局や今後のネットワーク検討会に対する率直なご意見などをいただくという形となっております。

この会議の中で報告いたしました事項の一つとしまして、昨年10月に災害時の栄養食生活支援活動に関する協定というものを東京都栄養士会と締結いたしました。趣旨といたしましては避難所及び在宅の要配慮者に対する保健対策のうち、巡回栄養相談などにかかる協力をしてもらうためのものです。この協定によってどのような動きが今後でてくるのかということを知るために、日本栄養士会の災害支援チーム「JDA-DAT」の紹介と働きというところで、本日もご出席されている日本栄養士会のチームに所属し、経験・実績も積まれている高山委員にアドバイザーとしてこの会議に出席いただき、お話をいただきました。その後のグループディスカッションで出された意見の中には在宅で取り残された方、特に高齢者を食の面からどう支援していくのか。あるいは栄養士や地域専門職との連携を今後どうしていくつもりなのかしっかりと議論して検討していかなくてはならないというような意見をいただいたところでございます。

令和2年度の計画では先ほど申しました避難所の訓練、これは受付帳票を実際に使って、また食事の支援が必要な人と同時に支援できる人を見つけるシミュレーション

が必要だと議論が以前されていたところです。ただ、ここ数年は今までの地震という想定だけではなく、台風による水害も想定しなくてはならないという課題も出てきておりまして、感染症を防止するためには在宅避難ということも新たな課題となっております。実際の検証は進んでおりませんでした、コロナの状況で避難所訓練を今後どうしていくかということも課題として残っております。また、先ほどのマニュアルでございますが、食支援に役立つものとしてまとめていくことが必要だのご意見いただきましたし、事務局もそう感じているところでございます。以上でございます。

事務局（杉崎）

担当からもございましたけれども、昨年度ですね、本会議の会議録の公開の遅れですとか、日程調整の遅れ、さらには災害時食支援ネットワーク検討会の検討委員の方々の推薦依頼の漏れがあったということがございまして、これは担当者だけではなく、管理する側にも、落ち度があったと思っております。同様な事態を招かないように注意をして参ります。

□委員長

それでは今の報告を受けまして全体を通してのご意見、感想をおうかがいしたいと思います。羽原委員は退席時間等の関係もございしますので何かご意見ありましたらお願いいたします。

■羽原委員

前回の書面開催の後で言いますと特別区全国連携プロジェクトの会議がたくさん入っていますが、具体的なところについて伺いたい。また災害時食支援ネットワーク検討会については、コロナも災害の一つに入りますが、こうして墨田区がワクチンの接種について素早い対応ができてるのは、岩瀬さんのここでの経験が役に立っているのかなと思っています。墨田区民は他の自治体と比べて早く接種ができてることを非常に喜んでいるので、すみだの食育が根付いていることもその要因になっているのかなと思います。以上です。

□委員長

ありがとうございます。まず特別区全国連携プロジェクトの映像制作会議についてお話をさせていただきます。すみだ食育 good ネットでおとし行われました特別区全国連携プロジェクト十勝のワークショップの映像をとってそれを残していこうというところで、19分程度に渡る映像を昨年度作成しました。本日それは持ってきていないのですけれども、またの機会にぜひこちら見ていただけたらと思います。

■大久保委員

よろしいでしょうか。災害時食支援ネットワーク検討会については再三再四申し上げたので、あまり言いたくないのですけれども、やはり今後会議の準備だとか、アリバイ作りのようなやり方をやめていただきたい。私も当日診療休んでいますし、他の方も仕事を休んで参加しているのに対し、前回は連絡が遅かったので半分程度しか参加できませんでした。そうして無理やり会議をやっているのは意味がない。今話を聞くといかにもしっかりやったような感じを受けるが、こんなのはとんでもない話。もうちょっとちゃんとやっていただきたい。今後7月、10月と予定があるということなのですが、その内容はどうするのか、もう少ししっかりと組み立ててみなさんが仕事を休んで参加しているのだからその意義があるように、何卒よろしくお願いしま

す。

□委員長

事務局のほうよろしいでしょうか。それでは報告とさせていただきます。つづきまして、議題に移らせていただきます。それでは事務局よろしくお願いします。

事務局

それでは説明させていただきます。資料3をご覧ください。令和3年度の食育推進事業の予定なのですが、まず1、食育フェスについてです。こちらは次のページにも記載があるのですが、開催期間は令和3年の6月17日18日の木曜日と金曜日の2日間です。開催時間については午前10時から午後4時までとなっております。

会場については例年ですと1階のアトリウムやギャラリーを使用していたのですが、現在ワクチン接種の会場となっているため、今年度については2階のリバーサイドイベントホールにて行われます。開催内容としては、パネルの展示、動画上映、また生活衛生課によるミニ講演会を行う予定です。参加団体は、地域団体の方々やNPO法人、各企業様、また墨田区の各課による展示を行う予定となっております。

2枚目のすみだ食育フェスについて、2番については、令和元年度からの変遷ということで、期間・会場・内容また参加団体について記載がありますので、ご確認いただければと思います。

食育フェスの(2)のこども商店街についてなのですが、現在コロナウイルスの感染状況もみつつ、開催方法を検討中です。開催時期については夏以降に開催可能性があるかどうかについて検討しておりまして、開催方法につきましても、今まで通りのやり方ではなく、各児童館と店舗の小規模開催や映像による店舗PR動画などを流すなど、違った形で開催ができないかどうか模索しております。

次に2番の墨田区食育推進計画の改定作業です。これについてはまた後ほど説明させていただきますが、今年度が現計画の最終年度であるため、改定作業を行っております。区民参画を図るために地域ヒアリング等を開催しながら作成をしております。次期計画については来年度、令和4年から令和8年度です。スケジュールとしましては、今年度の7月より地域ヒアリングとSDGsと食育検討と名前をつけた部会において活動を進め、来年の2月、墨田区食育推進計画の素案を作成いたします。3月にパブリックコメントを行い、6月から第四次墨田区食育推進計画の開始という予定です。

3番の食育地域活動支援についてです。児童館等地域団体の活動を支援する食19会において毎年9月に江戸に浸かるという玉ノ井、寺島・玉ノ井まちづくり協議会主催の地域イベントの協力、また児童館主催の防災体験が11月にありますので、それに対しての支援を行っていきたいと思っております。

4番の中学3年生の農業体験漁業体験については、現在10月11月にアンケート調査を行う予定です。

5番の災害時食支援ネットワークの構築については、現在7月と10月に開催を予定しており、災害時の食支援に関する検討を行い、マニュアル素案の整理などを行っていく予定です。

また例年6月に開催されている食育推進全国大会についてですが、今年度は岩手で開催の予定でしたが、先日大会実行委員会から通知が届きまして、観客を招いての展

示、講演等は中止となりました。そして Web 開催のみとなる旨の連絡がありましたので、こちらから動画を送っているものの上映をもって参加とさせていただきます。以上です。よろしくお願いします。

□委員長

ありがとうございます。令和 3 年度食育推進事業予定について御意見ある方は挙手をお願いします。

■大久保委員

食育フェスなのですが、例年展示の参加をさせていただいていたのですが、今年はやめさせていただきます。これは去年もそうなのですが、通知が全くなく、コロナを理由にするのもいいですが、他の部署は工夫してやっているのではありませんか。周知しているのかどうかも全くわからない。ミニ講演会についても 40 分を 2 回やるそうですが、これも周知しないと人が集まらないのではないのでしょうか。参加者がいるのか疑問です。税金を使って、これも災害時食支援ネットワーク検討会と一緒に、アリバイ作りのようなイベントなのではないかと思います。そのため今回向島歯科医師会は展示の参加をしません。

□委員長

事務局のほう説明をよろしくお願いします。

事務局

6 月 1 日の区報に、食育フェス開催の記載があります。ミニ講演会についても主催が生活衛生課ということでこちらから区報に載せています。現時点で募集定員の半分以上が埋まっていると報告を受けています。チラシについては、食育フェス、講演会ともに作成自体は済んでおりますが、緊急事態宣言の延長の関係によって開催が決定したのが 31 日だったこと、またイベントの開催期間が緊急事態宣言の発令中であることから大々的な PR はせず、区報と HP 上での限定的な情報公開とさせていただいております。

□委員長

観客の人数を制限しなくてはならない中、食育フェスが行われたという写真であったり、動画であったりを紹介したりできないだろうか

事務局

委員長の挙げられた案のとおり、現在写真や動画を後日 HP 上で配信できないかどうかを現在検討中です。

□委員長

ありがとうございます。河西さんいかがでしょうか

■河西委員

小学 5 年生の生徒にうちわに絵をかいてもらい、それを 500 本ほど作るのだが、今年の対象となる小学校は中和小学校となっています。今年はイベントの開催期間が木、金だけなので、児童やそのお母さんたちが見に来れないのが残念。絵の内容について、最初は食中毒についての注意喚起だったのだが、現在はそれに沿ったものだとお願いしている。実際には手洗いの推奨に関するものがほとんど。

□委員長

ありがとうございます。他にありますでしょうか

■田口委員

小学生の農業体験、漁業体験とあるが、この1年子供たちはほとんどこういったことをしていないのではないのでしょうか。もしできることならば、アンケート内容を農業、漁業についてどう考えているか、などにしてもらえるといいのではないかと思う。検討願います。

□委員長

事務局よろしいでしょうか

事務局

はい。こちらに関しましてはアンケートをまだ実施していないのでコロナの影響がどれくらいの差で出るかについてはわからないのですが、アンケートの最後に、自由記載欄として「農業・漁業体験をしてよかったこと、印象に残っていること」といった部分もありますので提案内容については満たせるかと思っております。

■大久保委員

すみません、一つとても気になったので質問させてください。資料3の3番の地域活動の支援に食19会と書いてあるのですが、北部については墨田児童会館を中心に活動しているかと思うのですが、南部の立川児童館について5年間何もやっていないのでそれをどうなさるのか気になります。それと災害時食支援ネットワーク検討会の報告について、7月開催予定とありますが、すでに6月ですが現状何の日程調整もないので、また次回も半数以上の委員が欠席するのではないかと不安です。しっかりと対応をお願いします。

□委員長

事務局お願いします。

事務局

3番の地域活動支援における立川児童館に関しましては、まだ進んではおりません。立川フェスをすみだ食育 good ネットとともに支援したことはありましたが、地域団体のひまわり会に対して懇談するような機会を設けることができなかったことについては反省しております。現在立川児童館は設備の修繕ということで場所を変えて運営しておりますが、緊急事態宣言中ですと地域の方の集まりもないと館長さんからお聞きしております。コロナ禍があげましたら食育での関わりに先立ちまして、まずは顔合わせをしたいと話を進めております。

災害時食支援ネットワーク検討会については後ほど説明させていただきますが、前回の検討会開催時にその場にいた方の日程調整はさせていただきまして、後日欠席者とも調整を進めた結果、7月1日での開催となっております。ですが開催通知という形ではまだ連絡を行っておりませんので、早急にこちらは行わせていただきます。

□委員長

ありがとうございます。それでは令和3年度食育推進事業予定について賛同いただける方は挙手をお願いいたします。ありがとうございます。承認となります。続きまして、災害時食支援ネットワーク検討会の説明をお願いします。

事務局

資料4をご覧ください。令和3年度は先ほど7月1日、10月につきましては7月の開催の際に、出席委員の方に日程調整したいと考えております。災害食支援マニュアル

ルというものの素案を作りましたが、こちらについての整理を行うことが大事なところだと考えております。食支援を行うにあたりまして必要な情報であるとか、在宅避難という部分も新たな視点として挙がっております。そのような部分も素案の中には入っておりますので、それをどう整理するかを考えていく必要があるかと思っておりますので会議の中で行っていきいたいと考えております。

また、墨田区の保健所栄養士に災害時の栄養管理食支援の検討を行う必要があるため、保健所栄養士のメンバーで4月より月1で検討を始めたところです。こちらのメンバーの中で、災害時食支援ネットワーク検討会にも共通するような、例えば区の備蓄についての情報ですとか、避難所についてのことは情報があり次第検討会のほうで情報共有していきいたいと思っております。

□委員長

ありがとうございます。座長の河上委員何かありますでしょうか

■河上委員

マニュアルに関しましては、情報がありすぎているので、これを整理したいと思っております。もうひとつは、現在具体的な活動がなかなかできないため、現在オンラインでの講座ができないかどうか検討中。来週液体ミルクについて業者に話を聞く機会があるが、そのことについても相談してみたい。もうひとつ災害時食支援ネットワーク検討会で考えなければならないことはローリングストックについて。これをどんどん普及させていきいたいと思っている。在宅の避難において非常に有効な手立てだと思うので、みなさまからの意見もいただきながら議論を進めていきいたいと思う。

□委員長

ありがとうございます。他に何か意見のある方お願いします。高山委員何かありますでしょうか

■高山委員

前はじめて検討会に参加させていただきまして、いろいろな取り組みが行われていることを知ることができました。素案も拝見しまして、先ほど量が膨大であるという話もありましたが、災害時食支援というのはそもそも分野が多岐にわたっていると私自身思っております。その中で、現在災害時食支援ネットワーク検討会が年に2回開かれておりますが、これを増やしていくのは皆様のスケジュールの都合もあり難しいのかなと考えています。ただ細かい意見交換の場や、情報共有の方法が他にあれば検討内容や課題についてよりいい方向に向かっていくのではないかと考えております。

□委員長

ありがとうございます。事務局お願いします。

事務局

予算の関係もありまして、会議の開催回数を増やすというのはいまここですぐに回答することは難しいのですが、高山委員のおっしゃるように個別で意見を伺ったり、情報の交換をしたりということについては、委員のみなさまのご協力とご理解を得ることができれば可能かと思っております。また、7月の会議の際にご相談させていただきたいと思っております。

□委員長

ありがとうございました。原委員何かございますか

■原委員

一昨年の会議において、水害への対応策として、備蓄についての検討を進めるべきだという内容が出たと思うのですが、それについての検討は何か進んでいるのでしょうか

■河上委員

ローリングストックがそれにあたるかと思うのですが、まだきちんとした形で定まっていないため、内容固まりましたらその際には区の HP にアップするなどして区民への周知を図っていきたいと思っております。

□委員長

他に何かありますでしょうか

■内野委員

事例紹介ということでお話しさせていただきたいと思います。うちの大学が板橋区と行った事例なのですが、板橋区には湖池屋の工場がありまして、お菓子がローリングストックという切り口でキャンペーンを行いました。そこに QR コードで学生が3歳未満のお子さんがある家庭が災害時こういったときに困ったか、それへの対応策という事例も発信したところとても反響があり、10社以上から取材の問い合わせが来た。お菓子が栄養的にいいかどうかは別として、お菓子という身近なものが災害避難時に非常に喜ばれたという東日本大震災での事例があって、またお菓子をローリングストックにするという発想自体がローリングストックという言葉を知周するのに非常に有効的だったということで、参考になるかはわかりませんが、ご紹介させていただきました。賞味期限に関しましても、通常のものであればだいたい半年、現在は1年以上もつ保存する用途のものも開発されているようです。

□委員長

河西委員お願いします。

■河西委員

墨田区には水害時に協定を結んでいるマンションがありましたよね。私は江東橋4丁目にあるマンションの理事長をやっているのですが、そこは墨田区と提携を結んでいます。それでそのマンションは2階が公園のようになっているので、水害時にはそこへ上げて住民を避難させるという契約をしています。

事務局

追加情報です。すみだ食育 good ネットに様々なイベントで会員企業、例えばヤマザキパンさんの賞味期限が長いパンや、アレルギー食材を使用していないローリングストック用の商品の紹介をしていただいております。今後のイベント等でも紹介をお願いします。

食育フェスについてですが、前回11月の状況から特に目立った活動がないため参加を見送る企業さん等がいくつかあります。そのため、防災の視点から東京都栄養士会に声をかけさせていただきまして、展示をお願いしています。また、食育防災士という認定資格をつくっている一般財団がございまして、そこも食育と防災が密接に関連しているという考えをお持ちでしたので、展示をお願いしました。

□委員長

ありがとうございました。そうしましたら災害時食支援ネットワーク検討会について賛同いただける方は挙手をお願いします。ありがとうございます。過半数をもって承認となりました。

続きまして食育推進計画改定についてです。今年度の大きな柱となる墨田区食育推進計画の改定について、委員のみなさまのお立場からご意見を伺い、計画の方向性や視点、方法等について計画に反映していきたいと考えております。また、私としては計画改定の作業を通じて協働で、食育体制を改めて確立していくことが大切だと感じております。それでは事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは資料5をご覧ください。前回のすみだ食育推進会議にて資料案として似たようなものを示させていただきましたが、今回はその見直しを提案させていただきたいと思います。まず、この会議で検討するということはすみだらしい食育の視点を次期計画でも継承する意味だと考えております。それを実現するために今回、墨田区食育推進計画改定検討委員会というものを設けたいと考えております。こちらのメンバーですが、すみだ食育推進会議から佐伯委員長、友成・内野両副委員長、さらに有識者として農林水産省食育活動表彰審査委員の秋田昌子氏に入っていただこうと考えております。さらに、事務局といたしまして、食育の担当者及び計画改定の委託事業者に入っていただき、定期的に検討をし、今後全体の方向性と部会等の進捗管理を行っていききたいと考えております。

また、その下の部会についてですが、以前ここは地域部会という名称になっていたかと思います。こちらを「地域ヒアリング部会」と「SDG s と食育を考える検討会」というものに分けて、部会を再編したいと考えております。

まず、地域ヒアリング部会についてですが、従来型の地域型ワークショップをこれまで行ってまいりましたが、本来であれば対面式での意見交換を継続していきたいと考えておりました。しかし現在のコロナウイルス感染症の危険性も考えまして、区としては小集団、または個別のヒアリングを部会として行っていききたいと考えております。食育の取組を推進している、いわゆる担い手とそれを受ける受け手の両方の視点から意見を収集するつもりです。感染状況を見つつ、実際に会うか、オンラインで話を伺うかを判断していこうと考えております。

次に SDG s と食育を考える検討会ですが、こちらは国の食育推進基本計画においても SDG s の考え方を踏まえて、相互に連携する視点をもって推進する必要があると謳っておりますので、食育において、SDG s の項目にどのように関連付けて今後の取組の方向性を考えていくかということを検討していく部会としていくところです。以上です。

□委員長

ありがとうございます。今回食育推進計画改定において部会を設けるというところは、すみだ食育推進委員会に関する要綱に基づいて行われるところであります。今回、食育推進計画改定において両部会を設けると、地域ヒアリングに関しましては前回田口委員からありましたように、食育の推進を進めるうえで受け手のことも考えねばならないということもありまして、ぜひ田口委員に部会に参加していただきたいと考えております。

それから、SDG s と食育を考える検討会につきましては、先日墨田区が未来都市宣言ということで SDG s を推進する地域として選定されました。こちらは産業振興をもって SDG s を推進するということも踏まえて、三善豆腐工房の平田さんに委員をお願いできないかと考えております。ただ本日平田委員が欠席のため、後日相談させていただきます。もし合意を得られない場合は再度検討させていただきます。これらのことを踏まえまして、すみだ食育推進計画改定について御意見ある方は挙手をお願いします。

■ 栗田委員

一般的に、計画の改定にあたりましては現計画に対しての評価検証というのが必要だと思います。この資料 5-2 の検討内容を見ますと庁内推進会議を経て評価を行っているようですが、このすみだ食育推進会議においても評価を行う必要があると感じています。現在の計画においても、進捗管理としてすみだ食育推進会議及び墨田区庁内推進会議において、食育推進の方向性や計画の進捗状況等について総合的な検討評価を行うと記載されています。

また、先ほど冒頭の区長さんのあいさつの中でもこの 5 年間を振り返ってうまくいったところいかなかったところの検証が必要だということありましたので、それも踏まえてこの推進会議の場で現計画における評価検討ということをぜひやっていただいた方がいいのかなと思っております。現在の計画ではこの推進会議が年 2 回で、実際にはあと 1 回しかないのですけれども、また予算の制約があるのは承知しておりますが、計画をきちんと作っていくためには必要な手続きかと考えておりますのでご検討をお願いしたいと思っております。

□ 委員長

ありがとうございます。検証についてはやはり区長もおっしゃっておりましたので進めていく必要があると思います。現在、第 2 回のすみだ食育推進会議の日程が来年の 1 月 26 日を予定しておりますので、その間の計画改定の状況を中間報告する場を設ける必要があると考えております。予算の都合もありますので、書面で中間の報告をするという案もあるかとは思いますが、事務局いかがでしょうか

事務局

先ほど高橋のほうから提案がありましたけれども、食育推進計画の計画改定検討委員会を月 1 回程度開催しまして、その中で委員からご指摘のあったことについては検証していきたいと思っております。さらにこの食育推進会議の委員のみなさまにご確認いただくという手法については先ほど佐伯委員長より話のあった点などを踏まえて、やり方については工夫できるかなと思っております。

□ 委員長

それでは中間報告も含めて皆様に周知していただくということで、よろしく申し上げます。ほかにありますか

■ 大久保委員

栗田委員のおっしゃった評価はとても大事なことです。ぜひよろしくお願いいたします。あと、地域ヒアリングで担い手受け手というのがありましたが、前年度での人材育成では人数が 7 名のみだったので、もうちょっと充実させることができればいいのではないかと思います。また、今後のことを考えると担い手受け手の中に子供

も含めていくべきなのではないかなと思います。あと、特別区全国連携プロジェクトにおいては good 任せというところがあるので、これも一緒に連携していくといいのではないかなと思います。

□委員長

ありがとうございました。事務局いかがでしょうか

事務局

ただ今委員からご意見・ご指摘された点について、ありがたく頂戴したいと思います。

□委員長

ありがとうございました。そうしましたら次期計画について、お時間限られた中ですができるだけ意見いただきたいと思います。原委員ありますでしょうか

■原委員

難しいかもしれませんが、食育リーダーをもっと増やすべきじゃないかなと思います。このまま若い世代がもし出てこないと食育の推進についても頭打ちになってしまう可能性があります。それと SDG s についてですが、とらえられる範囲が非常に広いので、こちらの方である程度焦点を絞って、やるべきことを考えていかないとなかなか難しいのではないかなと思います。

あとピクトグラムについてですが、各団体がそれぞれ似たようなものを出しているので、すべて取り入れると逆に混乱を招くのではないかと思います。よろしくお願いします。

□委員長

ありがとうございます。河西委員いかがでしょうか

■河西委員

資料 5 についてなのですが、部会は SDG s と食育を考える検討会について、重点的にやっていただいた方がいいのではないかなと思います。私は、食育というとても広い分野について、3 つに分けられると考えています。一つは食。もう一つは礼節。最後に環境。そして私は今回の参考 1 がとてもいいと思っています。持続可能な食を支える食育の推進について、食べ残しをなくそうというのは墨田区の清掃事務所でもやっていることです。私たちの会においてもかなり協力をしています。部会において、この参考 1 を中心にまとめていただけるといいなと思いました。

□委員長

ありがとうございました。高山委員お願いします。

■高山委員

新しく提案いただいた推進会議における計画改定検討委員会は非常に重要であると思います。月 1 程度で開催されるとのことなので、そこで話された内容をすみだ食育推進会議ではない別の形でこまめに共有していただけると助かります。

また、おそらくデータ自体は取っていらっしゃるかと思うのですが、計画内の目標数値におけるその時々々の値を共有し、達成できたことと目標から遠い数値が出てしまったものへの原因究明等をしっかり浮き上がらせるとよりすみだの食育の目指すところが明確になってくるのではないかなと思います。この 5 年間の振り返りをすることが重要だと思います。

また、食文化の違いによって食べ残しに対する考え方も違うというのは考えさせられました。特に墨田区はいろいろな文化圏の方が住んでいる街だと思うので。

□委員長

ありがとうございました。田口さんいかがでしょうか

■田口委員

部会についてですが、それぞれの関係者等という記載があるが、私は以前活動をしている際、それを食育の活動だとは思っていませんでした。ただその時ある方にそれは食育だよと言われ、そこから自覚した記憶があります。場合によってはこの担い手等の中にも自分たちがやっているのは食育だと感じていない人もいますかと思いますので、誰かに声をかける際、関係者にこだわらず広い視点で見てみるのもいいのではないかと思います。

□委員長

ありがとうございました。続きまして中村委員よろしくお願いします。

■中村委員

私も前回初めて会議に出させていただいて、食育の推進にかかる領域の広さに驚かされました。一方で、地域住民の方の生活の中の習慣におちていかないと長いスパンでの結果にはつながっていかないのではないかと思います。そういう意味で言えば地域住民との接点をどう作り、どのようにして巻き込んでいくかが非常に重要だと思います。その際に地域の民間企業を巻き込んでいくような視点があるのもいいのではないかなと思いました。

すみだ水族館を運営しているのはオリックスグループなのですが、グループ内各社や事業所に対し、SDG s の観点で地域に貢献できるような活動を考えるという指示が出ています。現在何かしたいが、何をしたいかわからない企業がたくさんあるのではないかと思います。そういったところで、食育の領域の広さから言えばいろんな企業に対して働きかけができるのではないのでしょうか。それを通して地域住民の方との接点を持つことで生活習慣に落とし込むといった、立体的な計画ができると非常にいいものが出来上がるのではないかなと思います。

□委員長

ありがとうございます。河上委員いかがでしょうか。

■河上委員

SDG s について、現在食育でやっている事業を落とし込むとすべて該当してしまうと思います。そのため、新規で何か事業を立ち上げるというよりも、まずはその振り分けと掘り起こしをしっかりとやればそれだけで問題ないと思います。

□委員長

ありがとうございます。そうしましたら国の第4次食育推進基本計画及び東京都の食育推進計画に詳しい内野副委員長にお話し伺ってもよろしいでしょうか

■内野副委員長

SDG s が区の食育とどうつながるのかみなさん疑問に感じられている部分があって、今回この参考1の図がSDG s の中から食育を切り取って日本独自のものを作りたいということで作られたと伺っております。これは第4次基本計画の3, 4, 5ページの重点事項に記載のある生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進のピクトグ

ラムと、(2) になります持続可能な食を支える食育の推進というところでのピクトグラムからつくられたということを聞いているところです。こうしたピクトグラムを作ったというところがある意味新たな基準をつくったというところにつながるのかなと思っております。

また、すみだ独自の方法を考えてきたいと思っておりますが、すみだ食育 good ネット等と協力してすみだの食育アプリのようなものができるといういろいろお互い情報発信も進んでいくのかなと考えています。また今農林水産省による調査結果が出ていますが、今まで若者による食育がどんな施策をしても動かなかったのですが、今回コロナで 20 代 30 代の家庭菜園ですとか、食に対する興味がものすごく大きく動いたということで、いくら国の施策をしても動かなかったものが、コロナで動かされてしまったという結果が出ているそうです。また、野菜や果物の個人消費も今までにない量が動いているようです。そういったこともぜひ食育と結び付けて提案できたらと思っております。

□委員長

ありがとうございました。実は平田委員からご意見ということで私あてに手紙を預かっております。

まず一つ目として、児童館を中心にした取り組みの評価。今の計画では、児童館を中心に食育を進めていくことになっているが、昨年 10 月の会議のときに区から積極的な働きかけをし、推進してほしいとお願いした。その後保健計画が取り組んだことが何か教えてほしい。今の計画を策定して児童館を中心とした取り組みがほとんど手つかずで、区の働きかけが消極的で広がりがなされなかったように見える。児童館は地域の食育活動に大きな役割を果たしている。それは墨田児童会館の 10 年の取り組みを見ても効果は明らかである。評価をしっかりとやって欲しい。

また今回の計画改定では児童館を中心にした取り組みを確実に行うためにどのように進めるか検討して欲しいというのが一つ。もう一つ、他地域と繋がる場作り、すみだ青空市ヤッチャバやすみだ食育 good ネットの取り組みが実を結んで千葉県、山梨県、福島県、十勝など食育の繋がりが広がってきています。次期計画は 5 年間の期間があるので、他地域との交流の場作りが必要だと考えております。

私は災害時の食についても取組を行ってきました。その経験から一次産業のない墨田区にとって災害時の食の確保は重要であると思っている。全国と繋がりながら区民にとっては、災害時の食の拠点にもなると考えられるので。ぜひお願いしたい。

こういった意見を預かっております。そうしましたら今回の計画作りは目的ではなく、そのプロセスが大事と常々ご指導いただいております友成先生から一言お願いできますでしょうか。

■友成副委員長

それでは失礼します。私自身は様々な国の計画づくりに関わってきた経験があるのですが、ある一面、計画づくりの無意味性という議論もあります。計画を作っても結局どこかに積まれて終わってしまうケースが多くあります。計画づくりが自己目的化してしまったために、相当なエネルギーをつぎ込んで作った計画が、作られて終わり

ということはどこでもあり得るわけです。ですから墨田区がこれから計画を改定するにあたって、何が「目的」なのかということをしっかり踏まえないと、結局作ることが自己目的化してしまい、同じ運命をたどる危険性があります。

しかしこの「目的」を議論することは非常に難しいことでもあります。計画に限らず、多くの政策で本質的「目的」は何かという議論はされていません。その代わり議論されるのは「手段」です。「手段」はこの世の中に無数にありますので、非常に細かく議論され、いろんな意見が飛び交い、ぶつかり合います。その結果、関係者の間で分断が生まれるということが世の中で繰り返されています。しかしすみだでは、食育の「目的」とは何かについて常に考えつづけられてきました。

すみだらしい食育の根本にあるのは、食育の「目的」は何かということを常に突き詰めようとするところだと思います。わかりやすい例で言いますと「食育」を考えたときに、「食」と「育」のどちらが「手段」でどちらが「目的」かという話です。これは普通は「食」が目的になります。そうすると「食」に関係したアイテムだけが繰り返されつづけ、関係者が限定され、いったい何を目的にしているかが希薄化するわけです。

国の第4次食育推進計画の6ページにある「豊かな人間形成」、ここにまさに食育の「目的」に近いものが書かれているわけですが、「人間形成」とは何かについて書かれている箇所は一切ありません。国のこの計画の内容はほとんどが「手段」です。残念ながら内閣府から農林水産省に食育の担当が交替した時点で「目的」が希薄化してしまったと思います。さらに言えば、この計画に書かれていることのほとんどは「食」の話で、残念ながら「育」の話は一切出てきません。

それではすみだの食育の本質は何かということですが、何度も繰り返し言っていますが、「食で育む」ということです。すみだでは、「育む」ことが目的なのだということに食らいついてきたからこそ、非常に多様な人々が関わり、その中でいろんなものが育まれてきました。「育む」ということが目的化された時点で、一人ひとり「手段」では対立しますが、「育む」ということに関しては共有性があるため、関係者同士がつながってきたわけです。それがおそらくすみだの歴史であり、具体的には全国大会を見れば明らかなことだと思います。全国大会に参加されたすみだの食育関係者一人ひとりの「目的性」、ここで我々はいったい何を勝ち取るのかというところに目がいったとき、非常に多様な「手段」が出てきて、全国大会が素晴らしいものになったと。あれがまさにすみだの食育そのものだと思います。

ですから今回の計画改定も計画が自己目的化しないように。何を一体目的にしているのか、それはすなわちここで何を育もうとしているのかということに、常に食らいつき続けないと、おそらくみなさん疲弊して、できた後にみんな倒れていくということになる。これが一般的な流れです。ですから、そうさせないようにしていかなければならないと思います。以上です。

□委員長

ありがとうございました。最後に、岩瀬次長が以前の計画改定作業にも携わっていたということで、今回の次期計画の抱負をお願いいたします。

■岩瀬委員

墨田区は、地域力という言葉を常に発信し続けてきました。すみだが誇れる大きな

ものだと思っていて、私は5年ぶりにここに戻ってきたのですけれども、食育推進計画を改定するにあたって戻ってきたということに対し、私は食育に欠かせない人間なのかなと思っています。

そんな中、先ほど栗田委員の発言にもあったのですが、計画作りをするにあたって、今回の計画のこの5年間でちゃんと検証しなければならないと思っています。それに基づいて骨子を作る。そのあたりを食育推進計画改定検討委員会でも月1回きちっとやっていきたいと思っています。そして骨子と検証はすみだ食育推進会議でも諮らなければならない重要な案件だと思っています。

そのため、1月の第2回会議までの間に方向性が間違っていないかどうかお伺いをするような場を設けなければならないと思っています。従いまして、予算の問題もありますが、何とかして会を開かせていただき皆さんに検証と骨子、これをお示して、それがぶれていないと判断していただければそこからしっかり肉付けするといった形にしていきたいと考えています。今後、事務局としっかりスケジュールも含めて話し合って考えさせていただきたいと思います。本日は本当にみなさま貴重な時間をどうもありがとうございました。

□委員長

ありがとうございました。それでは中間でのチェックのほう、よろしく願いいたします。それでは墨田区食育推進計画改定について承認いただける方は挙手をお願いいたします。ありがとうございます。

事務局は、みなさまからの意見を踏まえて事業や計画改定の準備を進めていただくようお願いします。また委員のみなさまには、今後の事業及び墨田区食育推進計画改定の準備について御協力いただきますようお願いいたします。議事については以上になります。それでは最後その他ということで、情報提供ある委員さんいましたらよろしくをお願いします。

■田口委員

最後のページの資料についてなのですが、昨年度はコロナウイルスの影響でいろいろな行事やイベントを行うことができませんでした。そのため小学校の児童も非常に残念な思いをしていたため、これを何とかできないかということで、小中学校PTAと区や地域の連携によって人が集まらないでできる何かを模索し、子どもたちの夢を支援・かなえてあげるような企画を行いました。

資料にありますようにペンギンの飼育員になりたい子に対してはすみだ水族館の飼育スタッフの方に直接話を聞ける場を設けたり、佐伯委員長にはパン職人になりたいこどもに対しての支援をしてもらったりしました。全部で95件の夢が集まったのですが、約20件の夢について、支援を行うことができました。今回は一部の地域でこの取り組みを行ったのですが、今後は墨田区全体でこうしたことができればいいなと思っています。

□委員長

ありがとうございました。すみだ水族館というところで、中村さんにかげぞいまずか

■中村委員

先ほど申し上げたように、我々も文化企業として事業を展開しながら、一方でそこ

の地域に対して貢献したいという思いは企業として持っておりまして、それをいまのコロナ禍での責務だと思っております。こういった話が今後もあれば我々としては前のめりにお受けしたいところです。こうした意味でも、区内の民間企業や事業者を巻き込んでいただければと思います。

□委員長

ありがとうございました。私のところにも今回パン職人になりたいということで児童が来ました。実は私は 15 年ほど前に出張授業というものをやったことがあります。今やっている向島のお店の管理者はその出張授業でパン職人になりたいとやってきた子なのです。そして今回来てくれた児童に対し、担当してくれたのもその管理者の人になっております。バトンタッチをしたいなという思いで今回のイベントに組みさせていただきました。子供も大喜びしていて、本当に良かったです。

■友成副委員長

とても素晴らしい取り組みだと思います。この夢を育むというのは目的性そのものだと思います。陥りがちな罠がありまして、それは大人が高い立場から、子どもに対して知恵を流していくということです。このパターンは最悪です。そうではなく、1 対 1 の関係性の中で同じ人間同士として、その夢を大人がしっかりと受け止めて相対していくこと。それがおそらくすべてのキーになります。そこを意識しないとつい大人が支配的になってしまい、上から目線で教え、本来の意味での支援にはなりません。もちろん、「育む」も達成できないと思います。

■内野副委員長

前回教えられる側だった人が、今回は教える側だったということですね。本当に素晴らしいことだと思います。育まれているということがとても実感できます。

□委員長

教えたほうも非常に喜んでいて、取り組んでよかったと言っています。また、今後こう言った機会あればよろしくお願いします。

最後に、特別区全国連携プロジェクトの報告だけ簡単にさせていただきます。昨年度、特別区全国連携プロジェクトで十勝・台東・墨田で取り組ませていただきました。墨田区は十勝の芽室町と以前ワークショップをやりまして、そして昨年度はリモートでワークショップを 3 回行いました。そこで 1 番初めに行ったワークショップで出た意見をさらにブラッシュアップして詰めていって、実際この中でどのような取り組みができるかということで、アイディア出しをさせていただきました。

今年度は 2 年目として継続で活動していく予定となっておりますので、進捗等ありましたら今後ともご報告させていただきます。以上で報告議事の進行を終わらせていただきます。それでは事務局にお戻ししたいと思います。

事務局

はい、佐伯委員長ありがとうございました。またみなさまも長時間にわたり誠にありがとうございました。次回の推進会議について、この時点では年明けの 1 月 26 日と予定しておりましたが、先ほどのご指摘なども踏まえまして、中間報告の場を設けさせていただきたいと考えております。よろしくお願いします。それではこれで令和 3 年度第 1 回のすみだ食育推進会議を閉会させていただきます。誠にありがとうございました。